



2023年5月15日

各 位

会社名 フリー株式会社  
代表者名 代表取締役 CEO 佐々木 大輔  
(コード番号:4478、東証グロース)  
問合せ先 執行役員ファイナンス統括 原 昌大  
(TEL. 03-6630-3231)

### 特別利益及び特別損失の計上について

当社は、2023年6月期第3四半期連結会計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)において、下記のとおり、特別利益及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別利益

2023年6月期第3四半期連結会計期間において、2021年6月に出資し、2023年1月に株式を追加取得して完全子会社化したsweeep株式会社(以下「sweeep」といいます。)の段階取得に係る差益72百万円を特別利益に計上いたしました。

#### 2. 特別損失

##### (1)減損損失

2022年8月12日発表の「中長期経営戦略の公表及びそれに基づく特別損失の計上について」(以下、当該開示)の記載のとおり、2023年6月期を初年度とする中長期経営戦略(以下、当中長期経営戦略)においては、中長期的な成長の為に投資を加速させる時期と考えております。また当該開示「2. 特別損失の計上(3)今後の見通し」にて記載のとおり、2023年6月期以降、固定資産については資産計上したうえで毎四半期減損損失を計上する可能性を想定しておりました。

2022年6月期に計上した減損損失同様に、当中長期経営戦略を前提とし、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、sweeep取得に係るのれん及びその他固定資産に対して2023年6月期第3四半期連結会計期間において877百万円の減損損失を特別損失として計上しました。なお、2023年6月期第2四半期連結累計期間の減損損失(2,065百万円)と合わせて、2023年6月期第3四半期連結累計期間の減損損失は2,942百万円となります。

(2) 投資有価証券評価損

当社が保有する投資有価証券について、財政状態や今後の見通しについて判定を行った結果、2023年6月期第3四半期連結会計期間の連結決算において、減損処理による投資有価証券評価損49百万円を特別損失として計上しました。なお、2023年6月期第2四半期連結累計期間の投資有価証券評価損(46百万円)と合わせて、2023年6月期第3四半期連結累計期間の投資有価証券評価損は96百万円となります。

以上